

事故のない、安全で快適な交通社会の実現を目指して

明るく、快適な交通

松本交通安全協会
松本警察署



松本警察署管内における交通事故発生状況 (令和5年10月末現在)

交通第二課長 山岸久美子

本年の全県下における人身交通事故は、10月末現在で発生件数が4,043件、死者数は30人、負傷者数は4,824人と、死者数は減少し、発生件数及び負傷者数は微増となっております。

一方、松本警察署管内における人身交通事故は、10月末現在で発生件数が656件、死者数は6人、負傷者数は767人と、発生件数、死者数、負傷者数の全てにおいて増加傾向にあり、県下の状況と比較すると厳しい現状にあります。

新型コロナウイルスにより外出等が自粛されていた社会から、経済活動が回復傾向となり、松本市内の道路状況に目を向けますと、市内を走る車の量も、コロナ禍より明らかに増え、松本城や松本駅周辺においても、多くの旅行者等を目にするようになりました。

人々の動きがコロナ禍前に戻りつつあることにより、交通事故が増加傾向にあるとも考えられ、松本警察署では、年末に向け、交通安全協会の皆様方を始め関係機関等と手を

携え、悲惨な交通事故を一件でも減らすために、各種活動を強化していくことを考えております。

さて、当署管内の交通事故の特徴としては、自転車に関わる事故が全事故の19.7%と、県下平均の12.0%を上回っている状況です。

自転車事故での負傷者は、社会人の当事者が35.0%、次いで高校生が31.7%となっております。

管内では、通学で自転車利用の学生が多く、松本市でもシェアサイクル事業を推進していることから、自転車事故の防止や、本年4月1日から努力義務化された年齢におけるヘルメット着用を推進するため、高校生と連携した活動や、通勤通学時間帯における交通安全協会や松本市などの関係機関・団体等と協働した街頭啓発活動を行っております。

警察としては自転車事故を抑止するために、交通安全協会の皆様方や関係機関と力を合わせ、各種啓発活動をより一層強化すると共に、自転車に対する交通指導取締りを通じてルールやマナーの向上を図り自転車事故の防止に努めて参ります。

交通事故発生状況(速報値)

	発生件数(件)	死者(人)	負傷者(人)
長野県内	4,043	30	4,824
(前年同月比)	+232	-10	-288
	+6.1%	-25.0%	+6.3%
松本警察署管内	656	6	767
(前年同月比)	+126	+2	+157
	+23.8%	+50.0%	+25.7%

自転車事故発生状況(速報値)

	発生件数(件)	全事故に占める割合
長野県内	482	12.0%
松本警察署管内	129	19.7%

※令和5年10月31日現在

安全・安心な交通環境は警察だけで実現できるものではなく、交通安全協会の皆様方をはじめ、関係機関、団体、ボランティア、さらには地域住民の皆様との協力なくしては、その目的を達成することができません。

今後とも、地域に密着した交通事故防止活動を始め、安全・安心な松本市・山形村の実現に向けてご活躍いただいている皆様方のお力添えにより、更なる交通安全の意識を広げていただき、地域の皆様方が穏やかな年末年始を迎えられますようお願いを申し上げます。

協会トピック

中山小学校で自転車 運転免許証の交付

松本市長、松本警察署長及び松本交通安全協会長の連名で自転車に乗り始める小学4年生を対象に「自転車運転免許証」の交付式が10月4日中山小学校でありました。



14人の児童に交付され児童たちは免許証を受け取り、自転車の乗り方や交通ルールを学び、交通事故にあわないよう模範運転を誓った。

この取り組みは平成18年度から市内の小学校で行う恒例の事業で、安全意識の定着と交通事故防止のため実施されています。

緑十字銅章授章伝達式 の実施

全日本交通安全協会が長年にわたり交通安全の推進に尽力された功労者や安全運転の功績者に贈る交通栄誉章「緑十字銅章」の授章者への伝達式が9月29日松本警察署で行われた。



では、交通安全功労4名、優良運転者2名が授章された。受章者は異口同音にこれまでの労苦や功績が評価された喜びと、引き続き交通安全で地域に貢献する思いを新たにしました。

授章者は
交通安全功労者 畔上清(鎌田支部)、新井登(入山辺支部)、青木利盛(島

内支部)、宮田元子(島立支部)
優良運転者 伊藤文昭(庄内支部)、大谷秀幸(同)

角間壽美夫本郷支部長、
宮澤男里山辺支部長、
東管区警察局長・関東管
区交通安全協会連合会
会長連名表彰の受賞



角間、宮澤両支部長は交通安全を通じ地域に貢献し、実直な人柄から地域のリーダー的存在として活躍しております。この度長年の功績や無事故・無違反の模範的な運転者である優良運転者として受賞されました。両名は受賞を励みに「健康な限り交通安全に貢献したい」との思いを新たにしました。

支部だより

〔東町支部〕

当支部は、松本城の東側に位置し20町会の約2000世帯が暮らす住宅地であり、また昭和37年11月の発足で松本交通安全協会の中で一番最初に組織された支部であります。支部内の善光寺街道や国道道路は朝夕は大変混雑し、またイオンモールの開店に伴い週末の交通量も更に多くなりました。地域では住民の高齢化が進み一人暮らしの方も多く見られます。

支部の活動は、各町会役員と情報交換し危険箇所を把握してハザードマップを作成し交通安全教室等に活用して、交通事故防止に役立てております。



岡の宮社新年交通安全祈願祭 東町支部：昭和37年から毎年1月3日会員と役員が交通安全を願って行っています。

特に重点的に取り組んでいることは、地域住民の特性から高齢者宅を訪

問し、夜光タスキや反射材等の配布を行っております。また自転車のヘル



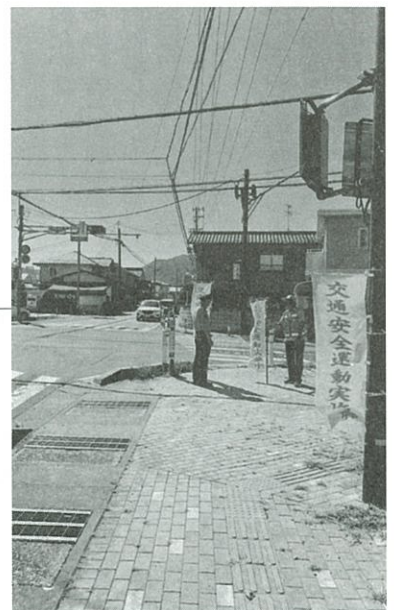
メット着用や利用時の交通ルールの周知徹底にも力を入れております。これからも東部公民館・福祉ひろば・幼稚園・小中学校とも緊密に連携して「安心して出歩ける街作り」を目指し、支部役員一同力を合わせて交通安全に取り組みで行きます。

〔梓川支部〕

松本市の西部に位置する当梓川地区は、日本アルプスの槍ヶ岳から流れる梓川の扇状地に広がった地域であります。世帯数は4800戸余りで21分会に分かれ、それぞれ分会長を中心に地域密着の交通安全活動を推進しております。

支部内の交通事情は、安曇野市から松本市へ通勤する車で朝夕の交通量は非常に多く、更に狭い生活道路を抜け道として

利用するため交通事故も多発しております。特に山麓線やサラダ街道が農地の構造改善により整備され、見通しが良いためか交差点での一時停止違



反が散見されます。支部の活動では各交通安全運動期間中の啓発活動をはじめ、スピードが出やすい道路での注意喚起を促すため桃太郎旗の掲出等を行っております。

また新入学児童の通学路の安全対策に重点をおき横断旗の設置や梓川駐在所と協働して小学校へ出向いての交通安全教室を実施するなど、命の大切さと交通ルールを身に付ける指導教育を行っております。

更に地域の花火大会(水輪花火)では、事故の無いよう役員総出で交通誘導に当たっております。これからも地域住民の安全安心な暮らしを守るため、支部役員一丸となって交通安全活動を推進してまいります。

飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大事故の原因となり、多くの人の人生を台無しにします。飲酒運転を絶対にしない、させない、許さない社会を作りましょう。

運転者本人も運転者以外も厳しく処罰されます!

- 車を貸した人
- お酒を飲ませた人
- 同乗した人



年末の交通安全運動

12月15日(金)~12月31日(日)

運動の重点① 夕暮れ時と夜間の歩行者事故防止

ドライバーの皆さんへ

- 薄暗くなると周りが見えにくくなります。「まだ明るいかな」と思っても、安全確保のため薄暗くなる前に早めのライト点灯を心掛けましょう。
 - 先行車や対向車がいなときはライトをハイビームにして、歩行者等をより早く発見しましょう。
 - ロービームで走行する時は、時速40キロ以下にスピードダウンしましょう。
- ▶ 歩行者の死亡事故のうち約8割が夕暮れ時・夜間に発生しています(令和5年9月末現在)。

歩行者の皆さんへ

- 夕暮れ時や夜間に徒歩で外出するときは、明るい色の服を着たり、夜光反射材やLEDライト等を使い、交通事故から身を守りましょう。

信州が誇るセーフティーマナー
信号機のない横断歩道での一時停止
8年連続日本一!!

横断歩道でのルール遵守とマナーアップを!
・横断歩道は歩行者優先!
・歩行者は手を上げて横断歩道を渡りましょう。

運動の重点③ 高齢運転者の交通事故防止

- 普段から通り慣れた道であっても、しっかりと安全確認して慎重な運転操作を心掛けましょう。
- 視野、反射神経、筋力等の身体機能は変化します。運転に不安を感じたら、家族や安全運転相談窓口(＃8080)などに相談しましょう。また、安全運転サポート車(サポカー)への乗り換え等を検討しましょう。

▶ 高齢運転者による死亡事故は約4割に上ります(令和5年9月末現在)。

- 安全運転サポート車(略称:サポカー)の普及を促進しています。国産の新型車には、衝突被害軽減ブレーキ(自動ブレーキ)の搭載が義務付けられています。また、ペダル踏み間違い急発進抑制装置は古い車にも後付けが出来ます。
- 運転免許証を自主的に返納できる制度があります。(詳しくは県警ホームページへ)
- 返納者は公共交通機関利用等の支援があります。(詳しくは長野県ホームページへ)

運動の重点④ 飲酒運転の根絶

飲酒運転の防止

- 飲酒運転は重大事故の原因となり、多くの人の人生を台無しにします。飲酒運転を絶対しない、させない、許さない社会を作りましょう。
- 運転前にアルコールチェッカーを活用して、体内のアルコールの有無を確認しましょう。

スリップ事故防止のため、早めに冬用タイヤへの交換をしましょう。

運動の重点② 自転車のヘルメット着用と交通ルールの遵守

自転車を利用する皆さんへ

- 命を守るためにヘルメットを着用しましょう。
- 自転車は車両です。交通ルールを必ず守りましょう。
- 交差点では、一時停止や徐行をして安全確認を徹底しましょう。
- 長野県では、自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられています。

▶ 自転車乗用中の交通事故死者のうち約5割が頭部に致命傷を負っています。(平成30年から令和4年までの5年間)

松本交通安全協会 事業所会員

- アルピコ交通株式会社様
- 日本通運株式会社松本支店様
- アルピコタクシー株式会社様
- 信州名鉄運輸株式会社様
- 松本第一交通株式会社様
- 全農長野県本部中信事業所様
- 東海西濃運輸株式会社松本支店様
- 松本牛乳輸送株式会社様
- 相互第一交通株式会社様
- メトバタクシー株式会社様
- 信州運送株式会社様
- 丸中運送株式会社様
- 大栄産業株式会社様
- 長野第一物流株式会社松本営業所様
- T S ネットワーク株式会社松本流通センター様
- 山梨貨物自動車株式会社松本営業所様
- アルプス運輸建設株式会社様
- 松本市駐車場事業協同組合様
- 株式会社井上様
- イオンモール株式会社イオンモール松本様
- トピーファスナー工業株式会社様
- 信州ビバレッジ株式会社様

おたがひ問答

「自転車は怖い」

ご隠居 みなさん暫らくです 息災でしたかね 作者が怠慢で事務局長に任せていたので すいぶん間が空いてしまいました 熊さん そうせねーぼつぼつ皆さんにも情報提供しなけりゃいけね

え時期だいねえ 八つあん それじゃー今回は何をテーマにするやいづら! 隠 いろいろありますが、やはり事故の多い自転車ですかね

熊 近所の六歳の男の子に乗り方を教えているんですが、今から様々なルールやマナーを覚えてもらいたいと思っていて、俺自身も勉強しながらやっています

八 なんか「自転車安全利用五則」ってのがあつたらしいじゃねえかい?

隠 はい、確かにそれもあります。基本的には守らなければならぬもので、まずは基本的に理解しておく必要があります

熊 まずは1に車道が原則左側を通行、歩道は例外、歩行者優先、2は交差点では信号と一時停止をまもって確認、3に夜間はライトを点灯、4飲酒運転禁止、5はヘルメット着用以上です

八 あたりめえのことだよ

熊 その他にも最近松本市内には自転車専用通行帯というのができたんだ

八 そりゃ何だい?

熊 自転車や歩行者と自動車を分離した道で自転車レーンが設置されている場合は自転車はここを左側通行で通らなければならぬ

だ いずれにしても、自動車のように免許が必要なものではないので、徹底するのは困難ですね

熊 そこで自転車にも「青切符」で反則金、最大2万5千円?を警察庁が検討しているらしいんだわ

隠 話は違いますが、松本駅前のようなところは難しいようですね

熊 そうなんだ、例えば駅の方から県の森方面に向かって走行し右折の場合はたとえ信号が青であっても交差点を直進で渡って一旦止まり向きを南に変えその信号が青になって渡る、或いは下車してスクランブルを利用する

隠 何れにしても歩行者の妨害はしないことです

熊 自転車は車両だよね

八 自転車はやっぱりかわ! なかた

編集後記

県下の交通事故の発生は減少傾向にある中で、高齢者の事故の割合は依然高く厳しい状況に変わりありません。

寒さが増し夕暮れも早くなる。これからの季節は、車も歩行者もお互いに「ヒヤリハット」が多くなります。

夜間の歩行は反射材を身に付けて、運転は「四時から点灯」の実践で、家庭・職場から交通事故をなくし、明るい新年を迎えたいものです。

(事務局次長 吉江)